

JAPAN CUP2026 チアリーディング日本選手権大会 まもなく開幕！ DIVISION 1 大学部門 昨年大会優勝 日本体育大学 大会2連覇を目指す

JAPAN CUP2026 チアリーディング日本選手権大会は、8月27日に国立代々木競技場第一体育館で開幕する。大会1日目は敗者復活戦、2日目にフライデートーナメントと中学校、高等学校ユース部門決勝、3日目はチアリーディングスピリッツ演技競技決勝、自由演技競技ディビジョン2決勝、ディビジョン1準決勝、チアダンス演技競技が行われる。大会最終日にはスモールグループスとダブルス演技競技、自由演技競技の各部門決勝が行われ、部門別日本一が決定する。

自由演技競技ディビジョン1 大学部門で大会2連覇を目指しているのが、日本体育大学 VORTEX（東京都）。チームの仕上がり具合や、大会に懸ける意気込みを、ヘッドコーチに聞いた。

ーまずは、今年のチームの特徴を教えてください。ー

ヘッドコーチ（以下、HC）：昨年に引き続き、日体大らしいとても明るいチームです。Aチームには5人ほどの1年生が入る予定ですが、昨年の優勝を経験した選手たちも多く残っています。

日体大ならではのパートナースタンプにはこだわっています。例えば、エクステンション（両足で立つ姿勢）をリバティ（片足で立つ姿勢）に難度を上げるなど、小さな成長の積み重ねでここまで来ています。進化を遂げている日体大を見せたいですね。

ーチーム作りで苦労されたことはありましたか。ー

HC：関東地区予選（6月開催）までは、まだ1年生がチームに慣れていなかったもので、新しいチームを作る大変さがありました。最上級生が抜けたことで、チームをどうまとめたらいいいんだろうという不安はあったかも知れません。ただ、関東地区予選とスウェーデンで開催された世界大学選手権があったので、そこはチームがまとまるきっかけになったと感じています。

今は怪我人も出ていませんし、1年生がチームに馴染んできました。昨年、夏のジャパンカップ、冬のインカレ（全日本学生チアリーディング選手権）で優勝させてもらったことで、いい意味での緊張はあるかもしれないですね。今年は連覇をしたいという思いは選手も強いです。



ーどのような演技構成になりそうですか。ー

HC：1曲目のパートナースタントで、今回はアレンジを加えたエクステンションの高さでの倒立姿勢を取り入れています。色々な技に少しずつアレンジを加えながら、他のチームがやってこないことに挑戦しようと考えています。今までの演技内容よりも、レベルをワンランク上げています。そういう意味では、優勝した昨年よりもレベルアップしていると思います。選手は難しい技を頑張って習得しているので、ぜひ皆さんに見て頂きたいです。

ーディビジョン2に出場するチームはいかがですか。ー

HC：今年もたくさんの新入生が入部してくれて、1年生だけで27人います。全部員で81人。これまで80人を超えたことはなかったので、過去最多の大所帯になりました。今回のディビジョン2に出場する選手たちは、少し前であればディビジョン1のメンバーとして出場しているような高い技術を持った選手たちです。Cチームはいつもならダブルアップを1台できるかどうかのレベルでしたが、今回は初めてダブルアップ3台に挑戦しています。



ディビジョン2出場 Aチーム



ディビジョン2出場 Bチーム

ー最後に、今大会の意気込みと目標をお願いします。ー

HC：トリプルアップ（3回転）がとても良くできるようになってきました。1年生にも上手なトップが入ってきたんです。去年のジャパンカップは「勝てるのかな？」という気持ちがあった中で、挑戦者としての大会でした。ずっと日本一を取り戻したくて、勝ちたくて、勝ちたくて、それでも勝てなかった時期がありました。1年前に勝たせてもらったことで、「私たちでも勝てるんだ」と思えるようになった。選手みんなの力で、見せたい演技をして、連覇を達成したいです。

日本体育大学史上初のジャパンカップ連覇を達成するのか。

チーム名 VORTEX の名のとおり、今年も会場に旋風を巻き起こす存在となることが期待される。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.